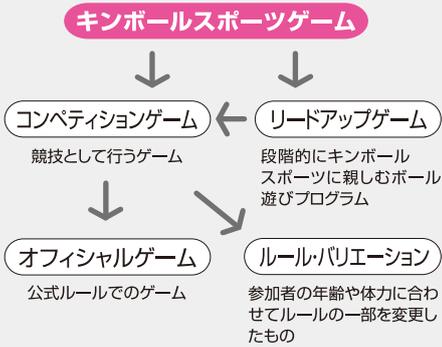




共に生きることを喜び、生きる力をつける

キンボールスポーツ

直径122cm、約1kgのビッグなボールを使い
1チーム4名、3チームで同時にプレーする
ユニークなスポーツ



キンボールスポーツは、1986年にカナダのマリオ・ドゥマース氏によって考案されました。当初ケベック・キンボール連盟が中心となり普及に努め、キンボールスポーツの理念である協調性、スポーツマンシップの育成、運動能力に関係なく、誰でもゲームに参加できることが学校教育に取り入れられ、急速に普及しました。現在では、カナダやアメリカの学校5,000校以上に、また多数の成人

教育コースに取り入れられ、現在の愛好者数は世界で推定500万人に達しました。日本では1997年10月に初めてNPO法人フレンドリー情報センター吉田正信代表理事が、大阪市内でこのスポーツを紹介されました。その後日本キンボールスポーツ連盟が中心になり2000年からは毎年ジャパンオープンを開催。また、全国各地での講習会を通じて普及を行っています。

「共遊」「主体」「創造」を構築するキンボールスポーツ

共遊

1チーム4名でプレーしますが、最大12名まで登録でき、プレーヤーは何回でも自由に交代できます。従って、3チーム最大36名がゲームを楽しむことができます。

主体

ヒット前に相手チームをコールする、同じ人が2回続けてヒットをしてはならない、ヒット時にはチーム全員がボールに触れていなければならないなど、誰もが主役になれるスポーツです。

創造

ルールは参加者の年齢、経験、体力などの条件に応じて一部変更することが認められています。コンペティションゲームだけでなく、指導者や参加者が創り出すリードアップゲームと呼ばれる段階的プログラム（ボール遊び）も楽しめます。